



子どもたちに もっと良い久喜市を残したい



cheer_for_KUKIさん

生まれも育ちも久喜市。やんちゃ盛りのお子さんを持つ1児の母。日々、市内のお店やお出かけスポットなどを紹介している。目指すは久喜市くき親善大使！

「久喜市を元気にしたい！」と、Instagramで久喜市の魅力を発信する cheer_for_KUKIさん。#kukimemo 企画が始まった時期と同じ、令和3年7月から発信を行っており、今も積極的に#kukimemo に投稿いただいています。

私が久喜を盛り上げる

久喜には、提燈祭りやマラソン大会などのイベント、素敵な場所や魅力がたくさん。なのに、市外の方にあまり知られていないのは何故なんだろうと、ずっと疑問に思っていました。子どもと日々を過ごす中、ふと目にしたのが菖蒲のラベンダー畑に「希望の扉」が設置されるといいう情報。久喜市側も頑張ろうとしてくれるのなら、私も久喜が良くなるように応援しよう。そんな思いで発信を始めました。

久喜市を イイとこ 撮どろり

—「#kukimemo」を付けて投稿してみませんか？—

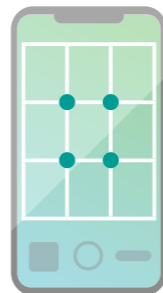
発信で誰かの背中を押す
いつも市内の情報は、広報紙やママ友の口コミから、また市内を歩いて探すこともよくあります。発信する情報にはよく注意していますが、私の意図しないところで問題が起きることもあり、発信の難しさを感じています。その一方で、投稿後に「このお店、気になったので今度行ってみます」とコメントをいただく、その方の背中をちょっと押せたよいうな、お店に行くきっかけになっているのかなと感じて、発信して良かったなと思います。

この先も魅力溢れるまちに
私が久喜を応援したいと思う背景に大きくあるのは、子どもの存在。子どもにも久喜を好きになって、久喜に住んでいて良かったと思ってもらいたい。50年後、100年後に子どもたちが暮らす久喜が、少しでも魅力的なまちであってほしいと願っています。皆さんにも、お出かけするとき、まずは市内に目を向けてほしいと思います。地元に住んでいても知らないことってたくさんあります。お家の近くにも、隠れた映えスポットがあるかも？ぜひ、私と一緒に久喜を盛り上げましょう。



撮影テクニック

スマートフォンのカメラ画面に、グリッドと呼ばれる線を表示し、水平・垂直を意識！一番写したいものを、4カ所の●のどこかに置いて撮影してみましょう！※グリッドは、カメラの設定で表示できます。



広報紙とInstagramの連動企画「#kukimemo」。市内で撮影し、このハッシュタグを付けて投稿いただいた写真の中から数点を選んで、広報くきのフォトニュースで紹介しています。市民の皆さんが知っている、久喜市のさまざまな魅力を、もっと多くの人に伝えようと、令和3年7月から企画をスタート。現在までに、1500件を超える投稿が集まっています。今回は「#kukimemo」の紹介に加え、市内在住のInstagramユーザーさんに取材しました。また、桜の時期に合わせて、市内の桜マップを掲載しています。新たな投稿企画の情報も必見です！皆さんも、外の暖かな陽気に誘われて、久喜市をイイとこ撮りしてみませんか。

撮影アイテム Shooting Items



愛用のミラーレス一眼。お子さんもすっかり使いこなしていました。



もみの木で作られた、カメラ型の小道具。「cheer for KUKI」の文字は、親交のあるお店で、焼き付けの体験をさせていただいたのだそう。



ここから見える夕日が綺麗で大好き！

久喜菖蒲公園



「希望の扉」は私の発信のきっかけ。市内各所に設置され、映えスポットになっていました。

菖蒲行政センター

my favorite photos お気に入りの投稿

cheer_for_KUKIさんの、久喜市にまつわる投稿は、現在までに400件を超えています。広報くき #kukimemo コーナーの常連でもあります！



投稿方法

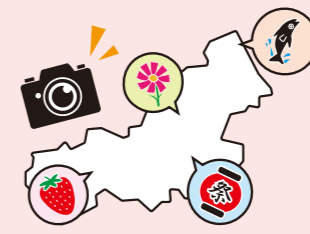
STEP 01

市公式Instagram「kuki_brand_info」をフォロー



STEP 02

写真を撮影！久喜市内で撮影したものなら何でもOK！



STEP 03

「#kukimemo」「#撮影場所名」
「kuki_brand_info」のアカウントをタグ付けして投稿！



※Instagramアカウントを非公開に設定していると、応募が無効となりますのでご注意ください。
※過去に投稿された写真でも応募可能です。「#kukimemo」のハッシュタグをつけて、再投稿してください。
※広報担当職員が写真を選定し、その際にInstagramのダイレクトメッセージを送らせていただきます。